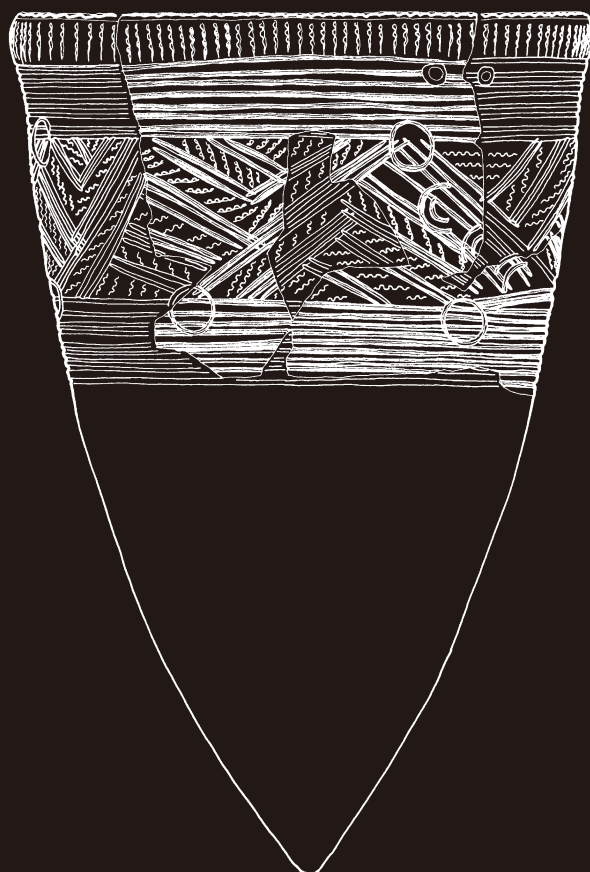
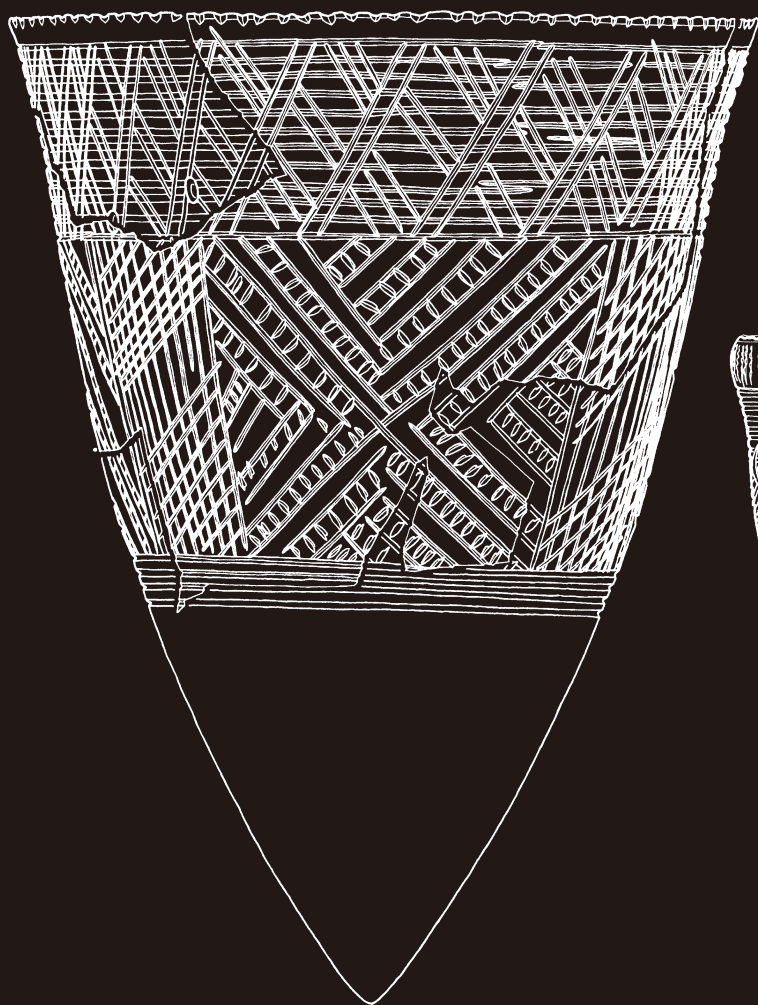


盛岡市遺跡の学び館 第24回企画展

北上川上流域の縄文時代早期土器 - 幾何学文様の系譜 -

2026.10.10 (土)

▶ 2027.1.24 (日)



会 場／盛岡市遺跡の学び館 企画展示室

開館時間／9：00～17：00（入館は16：30まで）

休 館 日／毎週月曜日（祝祭日にあたる場合は翌平日）、毎月最終火曜日、年末年始（12/29～1/3）

入 場 料／一般300円（240円）、高校生200円（160円）、小中学生100円（80円）

※（ ）内は20名以上の団体料金

※小学生未満、市内小中学生、障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名無料



イベント案内

後援／岩手考古学会、朝日新聞盛岡総局、読売新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、時事通信社盛岡支局、共同通信社盛岡支局、河北新報社、デーリー東北新聞社、岩手日日新聞社、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、ラジオ・もりおか、情報紙ゆうゆう

盛岡市遺跡の学び館 第24回企画展

北上川上流域の縄文時代早期土器

- 幾何学文様の系譜 -

盛岡市を含む北上川上流域（津志田付近より北の流域）では、尖り底の土器で知られる縄文時代早期の土器が数多く発見されており、北日本でも土器編年上欠かすことができない地域として注目されています。特筆されるのは、土器量が多いだけでなく、早期前葉から早期後葉までの移り変わりがわかる土器が豊富に出土していることです。移り変わる過程には、他地域からの影響を受けた文様や形が見られ、その特徴が地域に根付き、再び他地域に影響を与え、受け入れることが繰り返されてきました。このような土器の特徴を細かく調べることによって地域間のつながりや縄文人の動きがようやく見えてくるのです。盛岡市周辺は、昭和30年代に岩手大学が調査した日戸遺跡の貝殻文土器発見以来、盛岡市中央公民館による一本松熊ノ沢遺跡の調査、考古学研究者武田良夫氏による早期前葉の押型文土器研究など、全国的にも先駆的な調査研究が進められ、現在も研究が進められています。

今展では、北上川上流域に位置する盛岡周辺から出土した縄文時代早期土器の研究成果や土器文様の移り変わりを紹介します。



大新町遺跡
沈線文土器



薬師社脇遺跡
貝殻沈線文土器



新茶屋遺跡
貝殻沈線文土器

【関連事業】

特別講演会「縄文時代の玉製品―東北地方で発見されたネフライト―

講師／東北大学大学院文学研究科 教授

中央研究院地球科学研究所 研究技師 飯塚 義之 氏

日時／10月18日(日)13:30～15:30 9月5日(土)10:00～当館HP応募フォームか電話受付(先着順)

学芸講座Ⅱ「大新町遺跡・風林遺跡の縄文時代早期土器―考古学者 武田良夫氏の足跡―

講師／当館職員 神原 雄一郎

日時／11月22日(日)13:30～15:00 10月4日(日)10:00～当館HP応募フォームか電話受付(先着順)

学芸講座Ⅲ「岩手県の縄文時代早期―早期前葉～中葉にかけての土器―

講師／当館職員 神原 雄一郎

日時／12月13日(日)13:30～15:00 11月5日(木)10:00～当館HP応募フォームか電話受付(先着順)

※いずれも定員80名、資料代300円

【交通案内】

- ・JR東北本線、JR東北新幹線「盛岡駅」から車で5分、徒歩20分
- ・東北自動車道「盛岡IC」か「盛岡南IC」から車で20分
- ・岩手県交通バス盛南ループ200「総合プール前」、「県立美術館前」バス停から徒歩10分
- ・岩手県北バス盛岡駅西口、イオン盛岡南行き「杜の道北」バス停から徒歩10分

盛岡市 **遺跡の学び館**

〒020-0866
岩手県盛岡市本宮字荒屋13-1
TEL 019-635-6600
FAX 019-635-6605

